

私たちのりくべつ町議会

No. 120

発行日・令和7年5月16日
編集・議会運営委員会
発行・北海道陸別町議会

3月定例会

陸別町議会3月定例会は、3月4日から12日まで、4日間開かれました。今定例会では、令和6年度補正予算案7件、委員の任命1件、協定の変更1件、町道路線認定1件、条例案9件、令和7年度当初予算案7件を可決または同意し閉会しました。

ふるさと銀河線りくべつ鉄道管理事業

車両塗装と車両整備各一両

3千410万円

りくべつ鉄道は現在6両（自走不能2両を含む）の車両を保有しており、自走不能となっている黄色メーテル車両のエンジン、変速機、台車等の整備1両と、2010年に塗装した車両1両の塗装整備を行う。

当初予算質疑から

Q 今後、全ての車両を維持するためには、修理は付きものになってくるが、その度に本州まで搬送して費用対効果を考えずに観光資源として対応するの

か。また、今後のりくべつ鉄道の考えを伺う。

A 車両本体ではなく、エンジンを分解して送り、現地で修理できるものは現地で修理する。ディーゼル車両のメンテナンスが

できなくなってきたり、数年で部品も手に入らなくなると考えられるため今回修理を行う。核となる観光資源の一つだと考えており、これを持続可能にするために整備し事業を継続していきたい。

▶ 自走不能となっている車両



令和7年度 各会計当初予算額

会 計 名		総 額	前年度比
一	一般会計	49億 6,227万円	98.7%
特別会計	国保事業勘定	3億 4,522万円	103.8%
	国保直診勘定	3億 3,295万円	82.6%
	介護保険事業勘定	3億 0,292万円	95.3%
	後期高齢者医療	5,356万円	97.0%
事業会計	簡易水道事業	2億 2,094万円	70.4%
	公共下水道事業	2億 0,018万円	90.8%

令和7年度 予算総額 64億1,804万円

当初予算質疑から

● 人事評価制度

運用支援事業

256万円

Q

人事評価制度は、一年の自分の目標を掲げて、それを加算していつて給与に反映するシステムなのか。

A

各個人は業績と能力の二つの区分によって一年の仕事の流れの中で仕事の目標を立て、目標とした時期までに完成できたかなどによって評価され、最終的に評価点数が出て、その点数を更に5段階で評価付けをして、それによって勤勉手当の成績率が変わる仕組みになっている。

● 除雪業務委託料(総務費)

315万円

Q

この除雪費の業務委託場所はどこののか。また、定額ではなく降雪量によって変わるのか。

A

こちらは公共施設を中心とした除雪で、役場庁舎駐車場、診療所、保健センター駐車場、公民館、学校、保育所など29カ所の除雪を行っている。また、単価契約によって委託しており、出勤時間によって委託料を支払っている。

● 天文台望遠鏡改修

実施設計委託料

169万円

Q

望遠鏡制御システムは、天文台が建設された平成10年から交換はしていないが、軽微なメンテナンスを個人の技術者にお願いしている。今回、更新設計する業者に今後のメンテナンスを含めて委託することができるのか。

A

平成10年の望遠鏡とシステム導入時に、アメリカ製のものを採用した。国内では採用の少ない望遠鏡で、現在、取り扱う業者がなくなり、当時の業者の技術者が引き続きメンテナンスを担ってきた。今後は国内でも多く採用されているシステムに改修し、メンテナンスを賄える業者を想定した実施設計を進めていきたい。



▲ 国内最大級115cm望遠鏡「りくり」

● 自治会活動等促進交付金

248万円

Q

町内会の役割は、地域住民と町政との対話の窓口として非常に大切な組織であるが、町内会活動の活発化を促すためにも、各町内会の活動助成金となる交付金の算定基準と助成金の今後についての考えを伺う。

A

陸別町自治会活動等促進交付金規則に定めがあり、均等割、世帯割、事務費と、電気料、水道料の基本額、更に施設借上料の2分の1相当額を合算したことになる。また、規則の改正等で単価を変えることは考えていないが、今後、助成金の増額の意向があれば幅広く意見を聞き、その時に判断したい。

● 地域内交通対策事業

1千905万円

Q

令和6年度見込みより運行回数、利用者数とも増加になっているが、昨年度より予算が40万円減

額になった理由と、この事業を末永く続けるために利用料金を、昨年200円から300円に値上げしたばかりではあるが、今後、距離に応じ500円から600円の料金設定を導入する必要もあると考えるが、どのように考えているのか伺う。

A

回数は増えているが金額は減っている予算になっている。多数利用していた方が転出や死亡により減少したり、市街地外からの乗車により1回当たりの単価が上がることもあり、内容の細かなところは不明で、利用料金を300円に値上げした影響もどこまであるのか分からない部分が多い。利用者が増えれば補正予算を組んでやっていく。陸別町の今の状況を見ると、これが一番いい方法で年齢制限や距離に関係なく、誰が乗っても300円で利用できるようにし、市民の理解もいただいている。議員から値上げの話をして

いただきありがたいが、もう少し見守っていただきたい。

●町民水泳プール

基本・実施設計委託料

2千024万円

Q

耐震診断の実施を要望し、教育長より改修で進めるとの報告があった。通常であれば基本設計と実施設計は別々に計上される

と考えるが基本・実施設計とした理由と、基本設計後に説明と協議をしていたいただきたい。

A

ゼロから構想を積み上げていくのであれば基本設計があるが、既存のプールの面積は変えずに、基礎や鉄骨の部分は活かして現在地の改修を基本的な考えとしているので、基本的には実施設計と想っている。一年

間で基本設計と実施設計の両方をやるのは難しいので、一緒にした設計で進めたいと考えたが、今後の進め方は、教育委員会として持ち合わせている構想を提示しながら、関係機関等から参考となる概算の建設費を提示できるように準備をした中で、議会とも相談しながら実施設計に向けて進めて行きたいと思っている。



▶老朽化が進んでいる町民水泳プール

令和6年度 各会計補正予算

会 計 名		補 正 額	総 額
一 般 会 計		1億 6,158万円	53億 8,941万円
特別会計	国 保 事 業 勘 定	1,293万円	3億 4,458万円
	国 保 直 診 勘 定	△ 88万円	4億 0,852万円
	介 護 保 険 事 業 勘 定	△ 188万円	3億 4,659万円
	後 期 高 齢 者 医 療	25万円	5,549万円
事業会計	簡 易 水 道 事 業	△ 2,340万円	3億 0,248万円
	公 共 下 水 道 事 業	△ 756万円	2億 1,357万円

新年度予算の主な事業

○ 介護サービス利用者負担軽減事業 277万円（継続）

〔社会福祉法人等の介護福祉施設サービスや短期入所生活介護及び介護予防サービス等を利用する方で、市町村民税世帯非課税、単身世帯で年収150万円以下など、市町村が生計困難と認めた方が対象です。（軽減は、1割負担と食費、住居費等の1/4が原則で、利用者の状況に応じて決定する）

※詳細については、介護保険担当に確認ください。

○ 地域内交通対策事業 1,905万円（継続）

〔陸別町内に限り（全域）、ハイヤーの利用が1回につき300円で乗車できる。（診療所から薬局までは無料）

○ ふるさと銀河線りくべつ鉄道管理事業 3,410万円（新規）

〔車両塗装、台車の分解・エンジン他修理〕

○ 町民水泳プール整備事業 2,024万円（新規）

〔町民プール老朽化による改修のための基本・実施設計〕

○ 庁舎改修事業 3,662万円（継続）

〔役場庁舎エレベーター更新工事、誘導灯更新〕

○ 地域脱炭素化促進事業 30万円（継続）

〔生ごみ処理機購入助成〕

○ 介護職員資格取得助成事業 221万円（新規）

〔①介護職員実務者研修 ②対象となる資格を取得または研修を修了した町民に対し補助金を交付 補助率は経費の3分の1、上限は10万円（町内の介護事業所に勤務する等の条件があります）

○ 出産祝い金事業 180万円（継続）

〔第1子20万円～第4子以降100万円まで、交付要件に該当する方に祝い金を贈呈〕

○ 修学旅行費に対する助成 小学校8万円／中学校51万円（継続）

〔小学校は1人あたり1万円 中学校は1人あたり3万円を助成〕

○ 給食費無料化 保育所209万円／小学校418万円／中学校394万円（継続）

〔保育所は食材費を公費負担 小・中学校は給食費を全額補助〕

3月定例会では5人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。
その内容を要約して掲載します。

一般質問

水道管の更新と耐震化

ユクエピラチャシ跡の整備は

工藤 哲男 議員

問 陸別町の水道事業は昭和31年の創設から68年が経過。平成3年にトマム地区と統合後34年が経過する中、平成22年までに配水管を23・5km更新している。その後の導水管、送水管、配水管の更新と耐震化の現状と行方について伺う。

また、有収率が低い要因は何か。更に酪農・畜産において特に水は重要だが、水道管更新も進め、給水人口減少の状況の中で水道料金は据え置く考えでよいのか。今後、簡易水道事業コスト削減策として近隣水源地確保は協議検討しているのか。

町長 令和5年度末までの更新状況は、導水管は耐用年数前のため更新無し。送水管は95メートル更新。配水管は約3万1千メートル更新、全体の49・64％。総管路で37・81％の更新率である。耐震化は配水管1万7百メートル。総管路で12・98％の耐震化率である。いずれも令和7年度策定の中長期計画により検討する。有収率低下は漏水が原因で、今後とも漏水調査を実施し原因特定をして対処する。

今後の水道料金の値上げは経営戦略見直しを行ないながら、慎重に検討していきたい。

近隣水源地確保に関しては現在の水量、水質ともに良質のため考えていない。

問 国指定史跡ユクエピラチャシ跡は、アイヌ期の遺跡を復元保存され教育委員会で維持管理しているが、総合計画では住民参加型の史跡整備の方針を拡

張・継続実施する計画だが遂行しているのか。17年前の整備で柵列の復元は「後世に委ねる」姿勢であったが継続調査中なのか。

また、学校教育で活用されていたが、現在は小中学校の地域学習の一環で活用しているのか。日本でアイヌ文化の唯一の国指定の最大のチャシがあり、町民の財産で観光拠点と考えられるが、チャシを守り維持する取り組みとして、今後の考えを伺う。

答 ユクエピラチャシ史跡指定地の周辺は、現在、高速道路の予定地となる現状である。指定地内整備は国の許可が必要だが、毎年景観維持のため管理可能な部分は対応しており、令和7年度にも予算計上している。

松並木、階段整備は現状変更となり専門家のご意見を聞いて進める。柵列の復元は、結果的には遺跡破壊行為であり実施していない。

「後世に委ねる」とは道内で調査事例が増えることで、「復元できることを期待する」の意味である。

学校教育は教育委員会作成の教科書があり、「りくべつ学」において史跡について学び地元愛に繋がっている。チャシは町の財産であり、自然・地理・歴史・社会を視点としてストーリーを構築し、意識して取り組んでいきたい。

町長 国指定ユクエピラチャシ跡整備は、令和7年度も予算計上し実施する。今後とも教育委員会の意向を聞いて整備対応していく。チャシは観光拠点と歴史の承継のため必要なので、教育委員会と一体となり魅力あるまちづくりを検討・研究していく。





ここが聞きたい

職員の働く環境作りと

チーム作りの推進について

渡辺 三義 議員

問 最近では職場の中でハラスメントが問題となり、この事でストレスがたまり、最悪なケースを生み出すことがある。

本町では職員のメンタルヘルスケア事業として、ストレスチェックを毎年実施している。この事業に対する職員の実施状況や高ストレス者に対する対応について伺う。

答 労働安全衛生法の改正により、ストレスチェック制度が義務化され、本町は平成28年より実施している。

最近の状況は令和5年度は実施者87名のうち高ストレス者が11名、令和6年度は実施者90名のうち11名が高ストレス者に認定され、その中の3名が産業医の面接を受けた。

対応として、本人の意志を尊重し業務改善に努めている。また、職員との面談を中心にコミュニケーションを取るよう努めている。

問 人手不足の現状は、本町の基幹産業を中心に影響を及ぼしている。最近では地方公務員のなり手不足も深刻化している。

本町の職員採用の現状や、また、若手職員の早期退職の話も聞くが、現状について伺う。

答 本町の職員採用と退職者の現状は、令和4年は10名採用のうち退職者は4名、令和5年は9名採用のうち退職者は2名、昨年は7名採用のうち退職者はいなかった。

退職は、本人の意志に基づくが、特に若手の早期退職の予防としては、職員研修やストレスチェック制度を中心に面談を通して積極的にコミュニケーションを図っている。

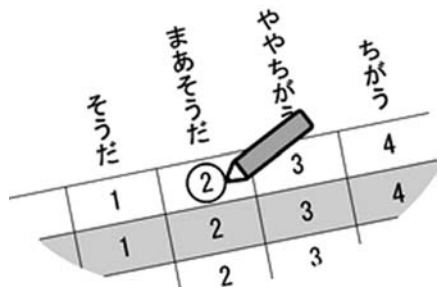
また、現職員に対しては職場の親睦会等で交流を深めている。今のところハラスメントを理由とした退職の話は聞いていない。

問 町長は就任してからちょうど折り返し地点となるが、公約の一部であるワンチーム作りについてどのように進んでいるのか。また、役場における職員

体制の充実はどうなのか。診療所の組織体制づくりは、現在どのように進んでいるのか。

答 ワンチーム作りは、この1年半の時間をかけて各職場に出向き、懇談会や個人面談を中心に常にコミュニケーションを取るよう努力してきた。その中で挨拶を絶対とし、何でもため込まない事、問題があれば直ちに報告をする事を伝え、今のところ順調に進んでいると思う。職員体制の充実には、問題はないと感じている。

診療所の体制は、看護師不足の現状にあり、人材派遣会社や帯広高等看護学院等へ足を運び、1日も早く充実した医療体制づくりに向け取り組みを行っている。今後も平等で優しい町づくりを目指して、町民に頼られる町を作っていきたい。



水道管耐震化の整備方針

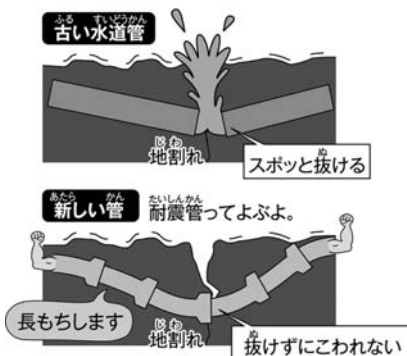
小学校複式学級について

中村 佳代子 議員

問 今年度管路耐震化、更新計画が策定されるが専用水道、営農水道はこの計画に含まれるのか。

答 この計画には含まれないが、整備されて間もないため今後必要に応じて対応していく。

問 本町の管路更新率は、2018年の数字で全国平均0・64%より低い0・18%になっている。管路更新は、年2%進めても50年かかると言われている。



▲ 画像提供：日本ダクタイル鉄管協会

簡易水道事業経営戦略では令和33年には給水人口が982人に減少の見通しとされている。現在の半分以下になった人口で、残された工事を進めていくことになれば大きな負担をかけることになる。計画策定後に少しでも多くの更新工事に取り組む考えはないか。

答 これまでに1万7百メートルの耐震化を行ってきた（総延長82394m）今後財政を加味しながら、水道料金も含めて慎重に検討していく。

問 スマートメーターの運用による「水るつく」未登録者への料金の郵便通知には、1件160円ほどかかると思うが、現在の「水るつく」の登録状況は。また、運用により町民が受

けるメリットはあるのか。

答 登録者は現在3000件（給水戸数1070戸）は超えている。スマートメーター導入により瞬時に漏水が発見でき、使用状況を見ることにより家族が安否確認をすることもできる。

問 小学校では2つの学年合わせて16人以下の場合という学級編制基準に該当するため今年度2年生、3年生が複式学級となる。今後順に複式学級になるものではなく、次は数年後となる。

小学校低学年の授業内容は今後の基礎となる部分が多く、また、学ぶという基本姿勢を身につける大切な時期である。これまでのように質の高い授業を児童全員が公平に受けられるよう、単費で職員を採用し、複式学級を回避する考えはないか。

答 複式学級対応のために教員免許をもった臨

時教員を募集している。他の先生方とも連携をとりながら体育と学活以外は単独学年で授業が行えるように体制を整えていく。

問 今年度の複式学級は、変則複式学級である。全ての学年が複式学級であれば、進級するたびに上の学年、下の学年と交互となるが、今回は2年生と3年生が卒業するまでずっと同じクラスとなる。一つのクラスの中では、やはり年上の学年がリーダーシップをとっていくような形になってしまふと考えるが、心の成長の部分はどのように考えるか伺う。

答 教員をうまく活用して教科担任制のように、子供たちが色々な先生と多く関わられるような体制をつくることで、多くの目で子供たちの個性を引き出せるよう努めていく。まずはスタートし、色々議論を繰り返してより良いものに変えていく。

地方創生2・0への

取り組みについて

濱田 正志 議員

問 陸別では地方創生の取り組みについて、地域再生計画を提出し、企業版ふるさと納税を行っている。

今年度1件の納税があり、企業の45周年として、新しい人の流れをつくる事業という名目で納税されている。このように地方創生の取り組みを行っているが、石破総理が掲げる地方創生2・0では予算が倍増された。

厳しい町財政の中であるため、一歩進んだ内容で活用を検討して頂きたいと思うが、現時点で取り組みはどのような事業を検討しているのか伺う。

町長 企業版ふるさと納税は、国の認定を受けて、昨年11月より受け入れを行っており、合わせて4件になる見込みである。

地方創生の取り組みは、執行方針の中でも述べたとおり最重要課題であるが、特に経済活動の活性化が必要だと考えており、中小企業

の皆さん向けの補助事業、住民生活を後押しする補助金など、これまでも実施してきた補助事業を継続していく予定である。

今後は、新たな取り組みとして地方創生交付金の活用を視野に入れながら、まちなか再生を検討しているところである。計画の具体的な内容を申し上げることはいたしかねるが、時間をかけて様々な情報を研究しながらしっかりと進めていきたい。

問 地方創生1・0の頃からある取り組みになるが、1・0でも継続される

ている。カーカル10000プロジェクトや地域活性化企業人、過疎対策の一環である過疎地域割り増し償却等がある。

割り増し償却は、町に対する納税額が減少するが、補てんとして交付税措置もあることから、これらを活用する考えはあるのか伺う。

また、公式ライン等を活用し、町民に色々なものを周知できるシステムを取り入れるべきではないか。

町長 貴重なご意見として受け取る。

あらゆる情報を皆さんに情報伝達として進めていくが、公式ライン等は、現時点で導入する予定はない。

これから税収の問題もあるが、町民生活の中で、事業者が持続可能な企業として運営していくことが軸になると考えているので、その辺の情報を発信していきたい。

企業版ふるさと納税 受付中

陸別町を応援していただける企業様を募集しています

対象事業

- ・安定した雇用の場を創出する事業（バイオガス、森林整備など）
- ・新しいひとの流れをつくる事業（天文台、しばれフェスティバルなど）
- ・結婚・出産・子育てのしやすい環境をつくる事業（医療費助成など）
- ・安心・安全に暮らせる地域をつくる事業（地域交通確保など）

2025.2.1(土)3(日)

しばれフェスティバル
日本一楽しいまちで会いましょう

銀河の森天文台

職業紹介所

みなさまのご支援をお待ちしております

北海道
陸別町
Rikubetsu Town

<https://www.rikubetsu.jp/furusato/kigyoubann/>



陸別町役場 総務課企画財政室 TEL(0156)27-2141

道路横断表示の白線の塗り替え更新を

谷 郁 司 議員

問 横断歩道標示の塗り替えてハッキリ鮮明にし、子供、高齢者、障がい者などの交通弱者の安全を守る事が急務である。

町条例でも「啓発活動及び交通環境整備等の総合的な交通安全対策の実施に努める」と、町・町民の責務として具体的に示されている。

令和6年の自治会長会議での要望として、ルナコー

トから国道に出る交差点の改善が求められているが現状はどうか。

町長 要望のあった箇所のカーブミラー設置は無理があり安全対策の効果がないと判断され、敷地の高低差のある土手の改善は常広開発建設部と現在協議中である。

横断歩道停止線は、改め

て把握し公安委員会で令和7年度にどこまでやるかは不明だが補修する予定との報告を受けている。

問 横断歩道が鮮明になれば、運転者又は歩行者に注意を促せ、事故の抑止力になる。

白線はハッキリ鮮明になると運転者も陸別の市街地に入ってきたと思うし、景観的にも良くなると思うがどう考えているか。

町長 景観について標識も横断歩道も綺麗になることは、安全対策の一部として捉えていきたい。

問 脱炭素の街として地球温暖化対策基金5億円を創設（令和6年3月）。山林資源を生かした町有林1000haのCO2吸収量

を売却し、8年間で2億円のJクレジットを道銀を仲介してバイウィル（東京）と連携協定を結んで進めている。

温暖化対策実行計画を作成中と思われるが、計画は庁舎内でゼロカーボン協議会、それを核として町民とのコンセンサス（合意）を得るためパブリックコメント（アンケート）を募集し計画は進んでいると思われる。どのように進めたか具体的に伺う。

町長 策定にあたってのプロセスは、関係する課長・次長を委員として副町長を会長とする陸別町ゼロカーボン検討委員会を立ち上げ、18歳以上の町民と町内事業所を対象にアンケート調査を行い意見を求めた。計画は令和7年度、令和12年度としている。宣言してから様々な情報頂いて今回協定を結んだ。

問 町内には町有林地だけでなく民有林地（伐採跡地）未立木地があり森林組合とともに、Jクレジット、森林環境譲与税と合わせ事業を展開し、将来の陸別を「緑豊かな町で脱炭素地球環境にやさしい街」にしてほしいがどう考えるか。

町長 民有地は所有者や森林組合との協議を視野に入れながら、町も次の展開を考えリーダーシップを張って森林資源を生かしていく。

また、町民の皆さんとは、「生」を減らしましょう」「節電しましょう」ということから少しずつやっていきたい。

問 令和7年7月から建築基準が変わり省エネ状態をクリアしないとならないこの事だが対策は。

町長 リフォームは、当町の移住定住促進住宅建設等補助事業がある。公共施設は、LED化工事を予算計上しているが、脱炭素推進事業債を活用する。

条例・その他の審議結果

件名	審議結果
● 定住自立圏形成協定の変更について	可 決
● 教育委員会委員の任命について	同 意
● 町道路線の認定について	可 決
● 陸別町指定介護予防支援事業者の指定の要件並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町水道・下水道審議会条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	可 決
● 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町消防団員退職報奨金の支給に関する条例の一部を改正する条例	可 決
● 陸別町乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例	可 決
【以下議会発議】	
● 陸別町議会議事規則の一部を改正する規則	可 決
● 陸別町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	可 決

委員の任命

● 教育委員会委員に、栄町の佐久間則勝さん（新任）を任命することに同意しました。

議会の動き

【2月】

21日 議員協議会

28日 議会運営委員会

【3月】

4日 3月定例会

総務常任委員会

産業常任委員会

議員協議会

5日 3月定例会

11日 3月定例会

12日 3月定例会

議会運営委員会

（広報編集会議）

27日 産業常任委員会

【4月】

15日 議員協議会

議会とお話し

しませんか

21日 議会運営委員会

（広報編集会議）

23日 議会運営委員会

「議会とお話し」

しませんか

議員のなり手不足解消に向けた取り組みとして、町民の方々とお話をする機会を設けました。

多くの町民の皆様と、陸別町のことをお話ししたいと思っておりますので、お気軽にお越しください。（開催日時は、回覧板で周知します）

次回の定例会は6月に開催されます。

詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。

皆さんの傍聴をお待ちしております。



陸別町議会 ホームページのご案内



【陸別町議会ホームページ】
<https://www.rikubetsu.jp/gikai/>